

新型コロナウイルス感染症の予防と 冷静な対応をお願いします



市民の皆さま、事業者の皆さまには、新型コロナウイルスの感染防止と社会経済活動の段階的な回復に日々ご尽力をいただき、心より感謝申し上げます。

とりわけ、医療の最前線で献身的に従事されている医療・保健関係者の皆さまに、深甚なる敬意と感謝を申し上げます。

さて、伊達市では、現在、新型コロナウイルス感染症患者が複数確認されています。行動歴等の詳細、濃厚接触者等につきましては、福島県県北保健所で調査しており、濃厚接触者とされた方に対してPCR検査を実施し、検査結果が判明するまでは自宅待機となります。陽性の場合には速やかに入院となり、また陰性であった場合でも最終接触の翌日から14日間の自宅待機となります。

市では、福島県と情報を共有し一体となって感染拡大防止対策を進めておりますので、市民の皆さまには、冷静に対応いただくようお願いいたします。

併せて、人と人との距離の確保、会話時等のマスクの着用、帰宅したらすぐに手洗い、店舗や施設の入口でのアルコール消毒など「新しい生活様式」に基づく行動を改めて強くお願いします。また、「3つの密」を避ける上で、感染リスクが高まる「5つの場面」が国より報告されていますので、ご自身の日常生活と照らし合わせて、より一層の注意をお願いします。

新型コロナウイルスは、いつ、誰が感染するか分かりません。感染された方は辛く苦しい思いをしています。市民の皆さまには、感染された方やご家族の心情を理解し、決してとがめたり責めたりすることのないようお願いいたします。また、不確かな情報の拡散や過度な反応など起こさないようお願いいたします。

感染された方の一日も早い回復を心より願いますとともに、市民の皆さま一人一人の自覚と責任をもった行動が、自分や大切な人の命を守ること、そして市民の人権を守ることに結び付いておりますので、何卒、ご理解とご協力を心よりお願いいたします。

須田 博行

感染リスクが高まる「5つの場面」

☎ 新型コロナウイルス感染症対策室 ☎ 572-6546

場面1 飲酒を伴う懇親会等

- ・飲酒で注意力が低下する。大きな声になりやすい。
- ・敷居などで区切られた狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると感染リスクが高まる。
- ・回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面2 大人数や長時間におよぶ飲食

- ・長時間の飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒は、短時間の食事と比べて感染リスクが高まる。
- ・大人数（5人以上）の飲食は、大声になり飛沫が飛びやすい。



場面3 マスクなしでの会話

- ・マスクをせず近距離で会話すると、飛沫感染やマイクロ飛沫感染のリスクが高まる。
- ・車やバスで移動する際の車内でも注意が必要。



場面4 狭い空間での共同生活

- ・長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- ・寮の部屋やトイレなど共用部分での感染が疑われる事例がある。



場面5 居場所の切り替わり

- ・仕事の休憩などで居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化で感染リスクが高まることがある。
- ・休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が発生している。



出典：「新型コロナウイルス感染症対策分科会」資料をもとに構成